

## ● 令和6年度の広報の取組方針

協会けんぽは、平成20年10月の設立より、日本最大の医療保険者として、保険料率、財政状況、健康保険給付、健康づくりや医療費適正化の取組等について、ホームページや広報チラシ等を活用した広報に取り組んできた。その際、協会設立時からの都道府県単位で自主自律の運営を行うとの方針に従い、保険料率広報等の一部の広報を除き、支部自らの創意工夫に基づき支部中心の広報を実施してきた。

一方、協会財政については、保険料率10%を維持した場合、令和7年度～9年度に収支差が赤字になる見込みである。将来的に保険料率を引き上げざるを得ない事態も想定し、第6期アクションプラン（令和6年度～8年度）の期間中に、協会財政の状況や健康づくりなどの取組の内容や意義について、加入者・事業主により一層の理解を求めることの重要性が増している。

こうした経緯を踏まえ策定された「広報基本方針」に基づき、「広報計画」を策定する。

令和6年度の本部広報計画（以下、「本計画」という。）においては、

- 広報計画策定初年度であることに鑑み、本部として、ホームページのリニューアルに向けた検討やSNSの運用開始等、今後協会の広報を充実させていくうえで礎となる部分を固めるとともに、
- 最重点広報テーマとして、「健康づくりサイクルの定着」（毎年確実に健診を受診し、健診結果に応じた行動（特定保健指導の利用や医療機関への早期受診）をとることの重要性の周知を図る）を
- 重点広報テーマとして、
  - ・「協会の財政状況」（令和7年度～9年度に収支差が赤字になる見込みであるため、厳しい財政状況の周知を図る）
  - ・「医療費適正化」（令和6年度から第4期医療費適正化計画が開始されるため、当該計画に基づく取組を広報する）
  - ・「コラボヘルス」（商工会議所との連携及びプロセス及びコンテンツの標準化を踏まえ広報する）
  - ・「保険給付の申請」（新様式での申請の徹底・記載誤りの減少により、自動審査率の向上を図る）等を選定する。
- 特別広報テーマとして、令和6年秋に健康保険証の廃止が予定されていることを踏まえ、「マイナンバーと健康保険証の一体化」を設定する。

本計画に掲げた事項の実践を通じ、健康づくりや医療費適正化などの協会の使命について、本部・支部で統一的・計画的に周知・広報し、加入者・事業主の一層の理解を得ていく。

● 令和6年度の本部における取組

取組	取組内容	スケジュール
統一感のある広報	協会イメージの定着・向上を図るため、本部・支部で統一感のあるデザインを使用(ブランディング)する。	令和6年度を通じて実施
ホームページ	直感的に操作できて、必要な情報に難なくたどり着けるホームページとするため、 ①協会職員で対応可能な課題(掲載内容の簡潔化等)については、随時の見直しを実施するとともに、 ②情報量が多く、必要な情報にたどりつけない等システム改修が必要な課題については、リニューアルで対応する。	[現ホームページ] ・チャットボットの本格導入など、令和6年度を通じて随時見直し  [新ホームページ] ・令和5年度に策定したリニューアル方針のもと、令和6年度制作開始
SNS (LINE)	スマートフォンの普及とともに、SNSを通じた情報収集が主流となりつつあること、また、加入者に直接訴えることが可能な媒体を増やしていく必要があることから、全支部において、SNS(全世代に幅広く利用されているLINE)を活用した広報を展開。	令和6年度中に、全支部でLINEの運用開始
全支部共通広報資材	・既存の広報資材(パンフレット・リーフレット・動画)の更なる活用を図るため、支部における活用状況やアンケート結果をもとに改善を図る。また、新たな共通コンテンツの作成に向けた検討を進める。 ・支部作成コンテンツの全国展開を順次進める。	[パンフレット・リーフレット・動画] ・令和6年度中に令和7年度版の修正完了 ・新たな共通コンテンツの作成に向け検討を進める  [支部作成コンテンツ] 令和6年度を通して、順次展開